

教育目標

自主
他敬 自愛
創造

内野中だより

内野中ブログ
QRコード



新潟市立内野中学校だより 令和6年12月24日(火)発行 第9号 新潟市西区内野西1-10-1 電話 025-262-3161
生徒数 1年生288名 2年生255名 3年生255名 計798名(12月23日現在)



平和への祈り

校長 佐藤 靖子

年の瀬になると、毎年、日本人がノーベル賞を受賞するか?等が話題になります。ノーベル賞は1901年から始まり、今年の2024年までで日本関連の受賞者は、32人(団体)です。今年は、「日本原水爆被害者団体協議会(被団協)」が団体としては初めて平和賞を受賞しました。ノーベル平和賞は、1974年元総理大臣の佐藤栄作氏が受賞して以来2回目です。佐藤栄作氏も核兵器を「**持たず、作らず、持込ませず**」の**非核三原則**を提唱してノーベル平和賞を受賞しました。この度も「**核兵器のない世界を実現するための努力と核兵器が2度と使用されてはならないことを被爆者による証言によって示してきた活動**」が評価され、被団協へノーベル平和賞が贈られました。

私は、学校教育の中で教科、領域(道徳、特別活動、総合)の学習以外で大切な教育は、平和教育と防災教育だと考えます。どちらも命や人権に関わるからです。私の実父は「今の命があるのは、奇跡なんだ。もしかしたら、自分は戦争で被爆して死んでいたかもしれない。そうしたら、靖子も生まれなかったんだよ。昭和20年8月6日、米軍のB29爆撃機『エノラ・ゲイ』は原爆を搭載し、新潟上空を目指そうとしたが、その日の新潟市は曇っていたから作戦を変更し、広島をターゲットとしたんだ。」といつも私に言って聞かせていました。実際のところは分かりませんが、かつて訪れた広島、長崎の原爆資料館には確かに、京都、広島、小倉、新潟が原爆のターゲットと記載されていました。京都は歴史的建造物が多く遺産として残すべきと米軍も判断し、九州の小倉は前日の八幡空襲で煙が上空まで上がっており、8月9日、長崎に変更した。そして、3発目は、やはり新潟をターゲットとして、8月20日に投下する準備が進んでいたという情報が有力のようです。8月15日が敗戦ですので、実際には投下されなかったですが、自分の命がなくなっているのは、奇跡なのだとすることを、戦争を経験した祖父や父から学んだ世代です。

この度の被団協代表 田中熙巳(てるみ)(92歳)さんのノーベル賞受賞演説で述べられたいくつもの言葉が心に刺さりました。「今日も、依然として12,000発の核弾頭が地球上に存在し、4,000発近くの核弾頭が即座に発射可能に配備がされている現実。」「たとえ戦争といえどもこんな殺し方、こんな傷つけ方をしてはいけない。」「みなさんがいつ被害者になってもおかしくない、あるいは、加害者になるかもしれない状況」

「**人類が核兵器で自滅することのないように!**」(著作権 © ノーベル財団、ストックホルム、2024年)



ノーベル賞授賞式の様子

△、2024年)

戦争もいじめも人として最も行ってはいけない行為です。短い人生、自分の命のミッション(使命)は、何でしょうか?今、生徒会を中心に「いじめ見逃し0運動」が活発に行われています。本年度の全校アンケート結果「**いじめはどんな理由があってもいけないことだと思います**」**当てはまる83.7%、やや当てはまる11.5%、4.8%(約38名)の生徒は、当てはまらないと回答しています。本当にそれでよいのでしょうか?**年が改まります。新年は、さらなる「世界平和、内野中平和」を願い、この奇跡の出会いに感謝すると共に、4月からクラスが変わる1、2年生、そして、卒業する3年生も、いつかまた会いたいと思える仲間であって欲しいですし、3年生は、あと数か月の内野中Lifeを愛しんで過ごして頂きたいと願います。

皆様にとって、来年も良い年になりますように。



ゼロ いじめ見逃し0集会

11月28日(木)にいじめ見逃し0集会が行われました。各学年委員会、生徒会本部が「いじめ見逃し0」に向け取り組んできたことを発表しました。一人一人の生徒を尊重し、いじめをしない、いじめを見逃さないために全校生徒で力を合わせて取り組んでいこうという気持ちを高めることができました。各学年の取組と生徒会本部の取組の概略と生徒会役員の振り返りを紹介します。



1学年委員会の取組

1学年委員会はいじめがない、見逃さない雰囲気をつくるために次の約束で「クラス会議」を行いました。

- ① 全員で円をつくる。
- ② 順番に一人一人が話をする。
- ③ 否定や批判は禁止する。
- ④ 意見はIメッセージで話す。
- ⑤ 出た意見は黒板に書いていく。

クラス会議後「どんな人になりたいか、そのために何をするのか」「どのような学校生活を送るのか」について個人で目標を決めてもらいました。

クラス会議を行うことで、みんなと話しやすくなりました。また、個人で目標を決めたことによって、いじめに対する意識を高めることもできました。



1学年クラス会議の様子

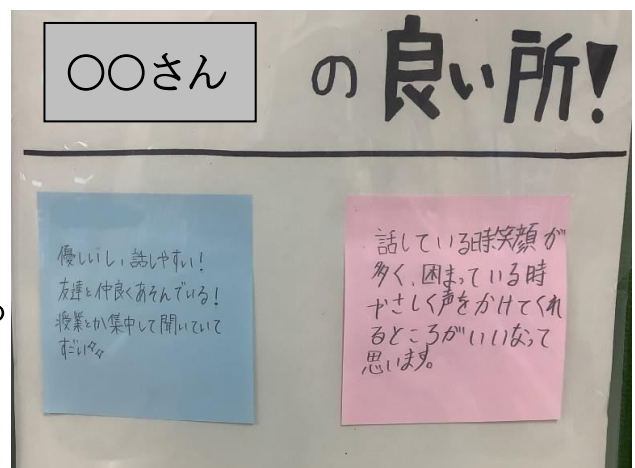
2学年委員会の取組

いじめをなくすために、交流を増やしたり、相談しやすくしたりし、相互の理解を深めたいと考えました。そのために2つの活動を行いました。

1つ目は「ハッピーレター大作戦」です。これは、自分の座席の列の人に日にちごとに別の人のよい所などを観察し、付箋に書いて相手へ渡す活動です。

2つ目は、「学級合同クイズ大会」です。各クラスの同じ名簿番号の生徒同士で、班を作りクイズに臨むものです。知らない人と話し合い、答えを一つにして問題に挑戦します。

これらの活動を通して、学級内だけでなく学年全体で交流できるようにし、相手のことをよく知り、いじめをゼロにすることができる環境を作っていきたいと思います。



2学年ハッピーレター大作戦

3学年委員会の取組

傍観者が一番いじめを止めやすい立場だと考え、傍観者視点からいじめについて考えた活動に取り組んでいます。学年全員対象のアンケートでされてうれしかったこととして応援してもらったことや困ったときに助けてもらったこと、相談にのってもらったことなどがあげられました。アンケート結果をもとに学年委員で劇を創り意見を共有できるようにしました。そして、傍観者になったときにどのような行動でいじめを受けている人を支えられるか学年全体で考えました。

一人一人が傍観者としてとるべき行動を決意表明としてカードに書き、それを掲示しました。これからいじめのない環境を作っていきたいと思います。



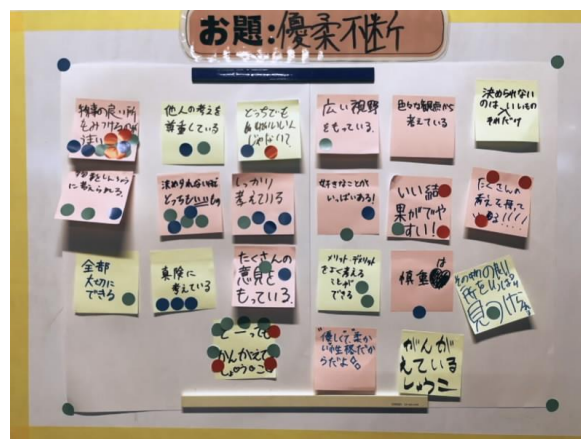
3学年 劇の鑑賞

生徒会の取組

生徒会は、「リフレーミング掲示版」「リボン」「ポスター」の3つの活動を行いました。「リフレーミング掲示版」は、ネガティブな見方をポジティブな見方に変え、雰囲気さをさらに明るくしていくことを目的として行いました。「リボン」は全校生徒にいじめをしない、見逃さないという意識をもたせることを目的として、平和という意味がある白いリボンを名札につけてもらいました。「ポスター」は、いじめに対する考え方について、身近に感じてもらうためにポスターを制作し、掲示しました。

全校生徒が、玄関にあるリフレーミング掲示版にポジティブな言葉や共感したときに貼るシールをたくさん貼ってくれていました。

私たちは、一人一人が生き生きと個性を発揮できる学校にしたいと思っています。これからも、いじめ見逃し0を達成できるように、一人一人がいじめを許さない気持ちを持ち、みんなで力を合わせ、明るい雰囲気を作っていきましょう。



リフレーミング掲示版

ゼロ

いじめ見逃し0集会を終えて

各学年の取り組みの発表を通して、「いじめをしない」、「見逃さない」という意識を改めて全校で確認することができたと思います。人から言われた活動ではなく、いじめをなくすために自分たちで活動を考え、取り組むことに意味があると考えます。また、生徒会活動の「リフレーミング掲示版」を通して、ネガティブな言葉でもポジティブな言葉で考える視点ができたり、他の人の考えに触れるいい機会になったりしたと思います。通りかかった時に、ふとリフレーミング掲示版を見てみると、たくさんの人が付箋に意見を書いてくれたり、シールを貼ってくれていたりしている様子をみました。一人一人が「いじめ見逃し0」の活動に積極的に参加してくれていて、とても嬉しかったです。各学年と生徒会の取り組みを踏まえ、全校がいじめに対する考え方を改めてくれるきっかけになればいいなと思っています。

そして、普段の生活からいじめ0を目指し、自ら考えて行動していきましょう！

生徒会本部役員

入賞の記録

この秋から現在にかけて内野中学校の生徒が様々な大会やコンクールに出場、出品し入賞しました。

第48回新潟県アンサンブルコンテスト(吹奏楽部)	金賞	金管八重奏 (代表選考会進出)
令和6年度 第55回新潟県ジュニア美術展覧会	金賞	木管八重奏
令和6年度 第20回新潟アート展	奨励賞	1年7組 S
	奨励賞	1年8組 M
令和6年度 新潟市明るい選挙啓発ポスター	奨励賞	2年3組 K
令和6年度 新潟県競書大会	優秀賞	3年7組 T
	準特選	3年1組 Y
	準特選	2年6組 H
	準特選	2年7組 H
新潟市中学校駅伝競走大会	男子	第八位
北信越中学校インドアソフトテニス大会新潟県予選会	男子団体	第三位

職員の表彰の記録

内野中学校職員も日頃の研修成果をまとめた対外的な教育論文コンテストに応募し入賞しました。

令和6年度 「特色ある教育実践」(日本教育公務員弘済会 主催)	優秀賞	教諭	笹川 礼
○若手教職員の部			
論文主題 「古典学習におけるエージェンシー発揮を促す学習サイクルの工夫」			
副題 ～ループリックと振り返りシート、学ぶ意義の語り合いを通じて			

冬休み中の予定

12月	火	午前授業	1月	水	元日
24日		給食なし	1日		閉庁日
25日	水	冬休み開始日	2日	木	閉庁日
26日	木		3日	金	閉庁日
27日	金	学校閉庁日	4日	土	週休日
28日	土	週休日	5日	日	週休日
29日	日	週休日	6日	月	
30日	月	閉庁日	7日	火	3年実力テスト 冬休み最終日
31日	火	閉庁日	8日	水	始業日(授業 水1から6)



内野中学校部活動地域移行について

先日、令和7年度以降の部活動についての文書を配布させていただきました。保護者や地域の方のご協力のお陰で、クラブ活動への移行も進んでおります。感謝申し上げます。

さて、今後クラブ活動に対する質問やご意見は学校ではなく、クラブ活動の代表者、指導者や担当の方へ直接連絡くださいますようお願い申し上げます。

本年は大変お世話になりました。皆様のご協力のおかげで、内野中学校は大きく躍進することができました。ありがとうございました。新年も引き続き、よろしくお願いいたします。